

# TOSHIBA

## *DynaBook*

# まずはこれから

初めて電源を入れてセットアップしてから  
インターネットにつなぐまで。  
**DynaBook** を使うための準備をしてください。



対象モデル：G8シリーズ

# マニュアルの使いかた

## ● 紙で読むマニュアル

### ステップ2 (本書)

「まずはこれから」

電源を入れてから  
インターネット接続まで



### ステップ3

「基本をマスター」

パソコンの基本操作、  
インターネット、電子メール



### ステップ1

「安心してお使い  
いただくために」

必ずお読みください



### 「応用ガイド」

本体の機能、バッテリーで使う  
方法、周辺機器の接続など

### ステップ4



### 「困ったときは」

困ったときの  
お役立ちブック

### ステップ2,3,4に対応



## ● 画面で見るマニュアル

### 「CyberSupport for TOSHIBA」(サイバーサポート)

パソコンの操作中に、「困った」「こんなことがしたい」「アプリケーションソフトの使いかたを知りたい」「用語の意味を知りたい」、こんなとき、「サイバーサポート」はDynaBook上にあるさまざまな情報を横断的に検索します。

知りたいことが簡単に探し出せるサイバーサポートで、パソコンの使いかたや知っておくと便利なこと、Q&A集などさまざまな情報を引き出すことができます。

また「アプリメニュー」から、DynaBookに添付されているさまざまなアプリケーションを起動することもできます。

**デスクトップ上の【CyberSupport for TOSHIBA】  
アイコンをダブルクリックする**



# もくじ

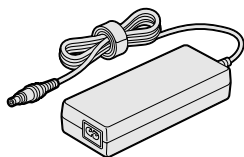
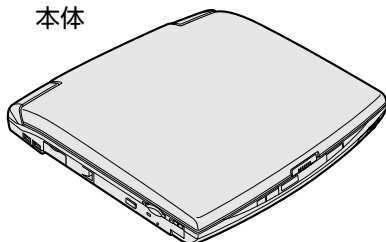
● マニュアルの使いかた .....	2
● もくじ .....	3
● DynaBookによようこそ！ .....	4
● Windowsのセットアップをしよう .....	8
● 電源を切る／入れる .....	20
● インターネットに接続しよう .....	24
● 接続までの流れ .....	24
● パソコンと電話回線を接続する .....	26
● プロバイダと契約する .....	30
● パソコンの設定 .....	32
● インターネット設定チェックシート .....	35
● インターネットに接続する .....	36
● インターネット接続を終了する .....	37
● ユーザ登録をする .....	38
● サイバーサポートで調べよう .....	40
● メニューを作ってみよう .....	42
● DynaBookと賢くつきあうために .....	44

# DynaBook によろこそ！

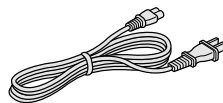
## ● 箱の中身を確認しよう

### 【本体と付属品】

本体



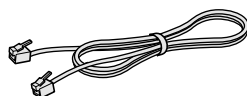
ACアダプタ



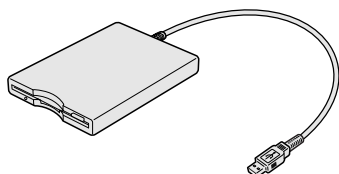
電源コード



ビデオケーブル



モジュラーケーブル



USBフロッピーディスクドライブ



リモコン



電池1個

■ Bluetooth™ ワイヤレススピーチレコグナイザー同梱モデルのみ

Bluetooth™ ワイヤレススピーチレコグナイザー 一式

## 【マニュアル類とCD/DVD一覧】

安心してお使いいただくために	エンドユーザ使用許諾契約書
まずはこれから	CD-ROM/DVD-ROMに関する注意事項
基本をマスター	<small>マイクロソフト オフィス エクスペー パーソナル</small> 「Microsoft Office XP Personal」一式
応用ガイド	(マニュアルとCD)
困ったときは	リカバリDVD 一式
東芝PCサポートのご案内	
東芝保証書兼お客様登録カード	
東芝パソコンお客様登録のお勧め	
<small>マイクロソフト ウィンドウズ エクスペー ホーム エディション</small> 「Microsoft Windows XP Home Edition ファーストステップガイド」*1	
<small>マイクロソフト ウィンドウズ エクスペー プロフェッショナル</small> 「Microsoft Windows XP Professional ファーストステップガイド」*1	

など

\*1 いずれか1部

## 【梱包箱について】

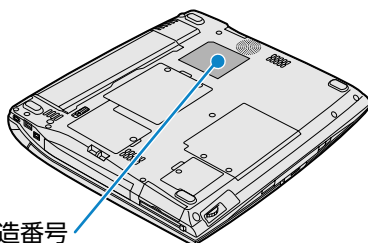
梱包箱は保存しておくことを推奨します。

引っ越しなどでパソコンを移動するときは、梱包箱に入れた方が便利で安心です。

## ● 次に保証書のチェックを ●●●●●●●●

### ■ 型番と製造番号を確認

パソコン本体の裏側に型番と製造番号が記載されています。保証書の番号と同じ番号かを確認してください。番号が違っていたら、購入した販売店に問い合わせてください。

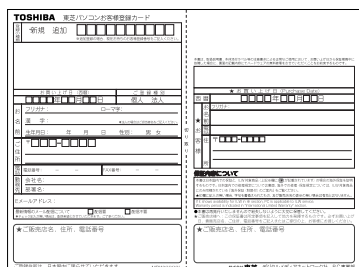


型番と製造番号

### ■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の保守サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認した後、大切に保管してください。



### ■ 海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW：International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・確認事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細については『海外保証（制限付）のご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

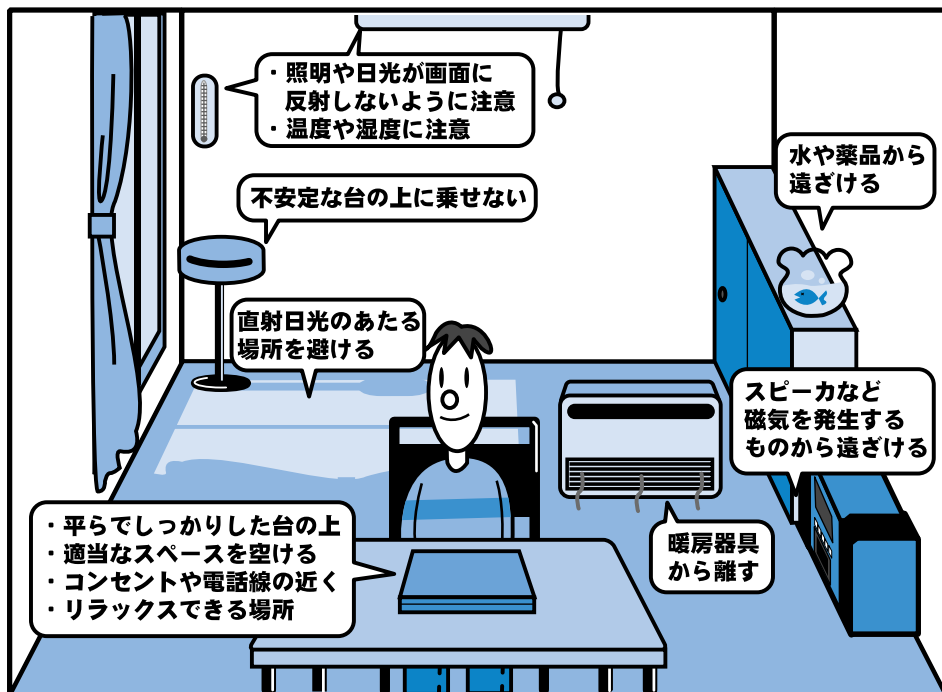
### ■ Product Key<sup>1</sup>は大切に保管

使用するWindows<sup>1</sup>の管理番号を「Product Key」といいます。Product Keyはパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

■ ご使用の際は必ず付属のエンドユーザ使用許諾契約書およびCD-ROM/DVD-ROMに関する注意事項をお読みください。

\*1 Windows、Windows XP … Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

## ● 適切な場所に置いてください



- 人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境とされています。湿気、直射日光やディスプレイへの反射光も苦手。強い磁気を発するスピーカの近くや、暖房が直接あたる場所もよくありません。
- 不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりする可能性があり、故障やケガにつながります。パソコンは安定した場所に置いてください。
- 磁石、スピーカ、テレビ、磁気プレスレットなど強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。

# Windows のセットアップをしよう

ここでは、パソコンを使えるようにするためのWindowsのセットアップを行います。セットアップには約10分かかります（作業時間は人によって多少異なります）。

作業を始める前に、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプタの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

## 操作の流れ

### パソコンの準備をする

- 電源コードとACアダプタの接続 ➡ 9ページ
- 電源を入れる ➡ 10ページ



### Windowsのセットアップをする

- 使用許諾契約書への同意／コンピュータ名の入力 ➡ 12ページ
- 管理者パスワードの設定\*1 ➡ 14ページ
- ユーザ名の入力 ➡ 16ページ

\*1 Windows® XP Professionalモデルの場合

## セットアップをするときの注意

**周辺機器は接続しないでください**

- セットアップはACアダプタと電源コードのみを接続した状態で行います。セットアップが完了するまでプリンタ、マウス、USBフロッピーディスクドライブなどの周辺機器は接続しないでください。

**途中で電源を切らないでください**

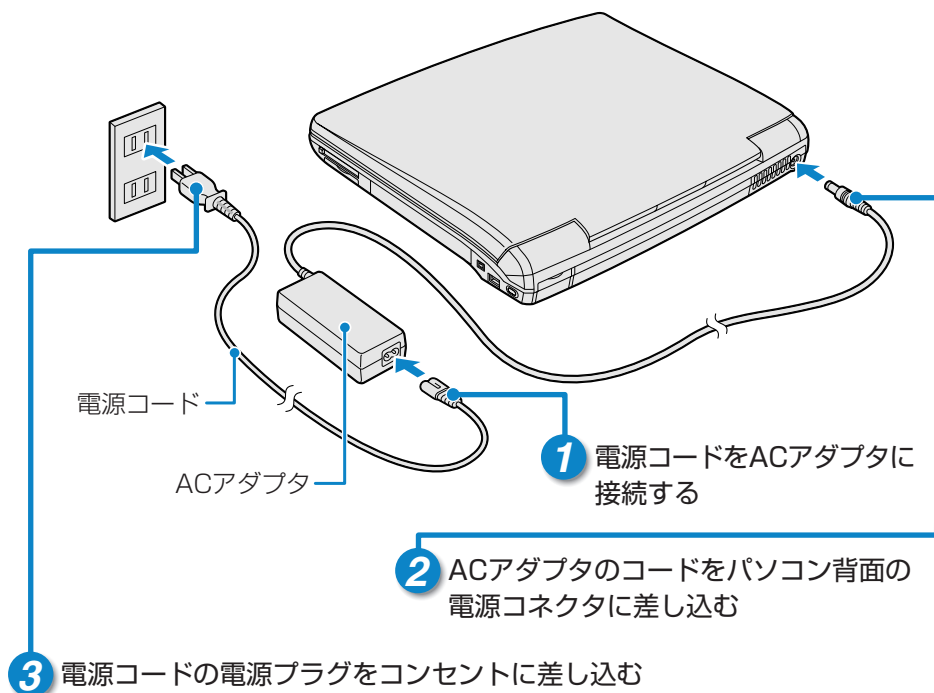
- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり修理が必要となることがあります。

**操作は時間をあけないでください**

- セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。  
30分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。  
もう1度表示するには、**[Shift]**キーを押すか、タッチパッドをさわってください。

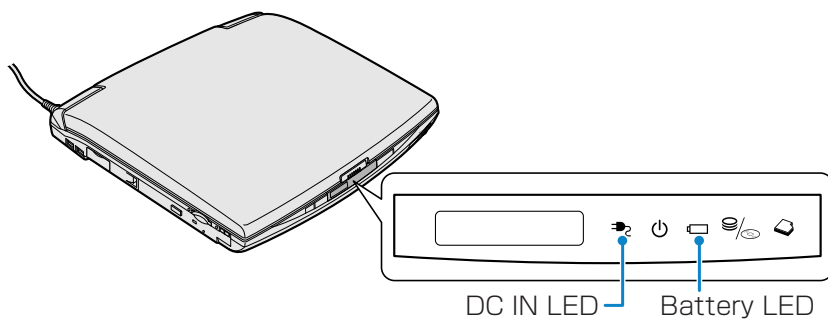


## 電源コードとACアダプタを接続する



### ■接続すると

- DC IN LEDが緑色に点灯します。また、Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。

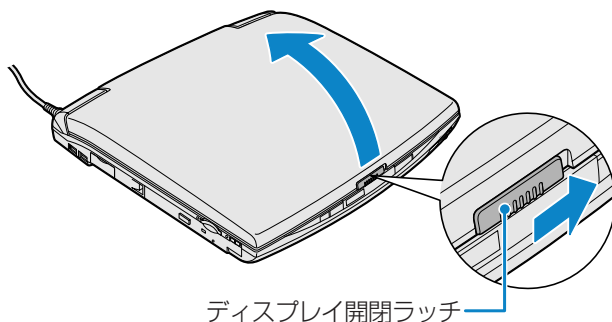


# Windows のセットアップをしよう

## 電源を入れる

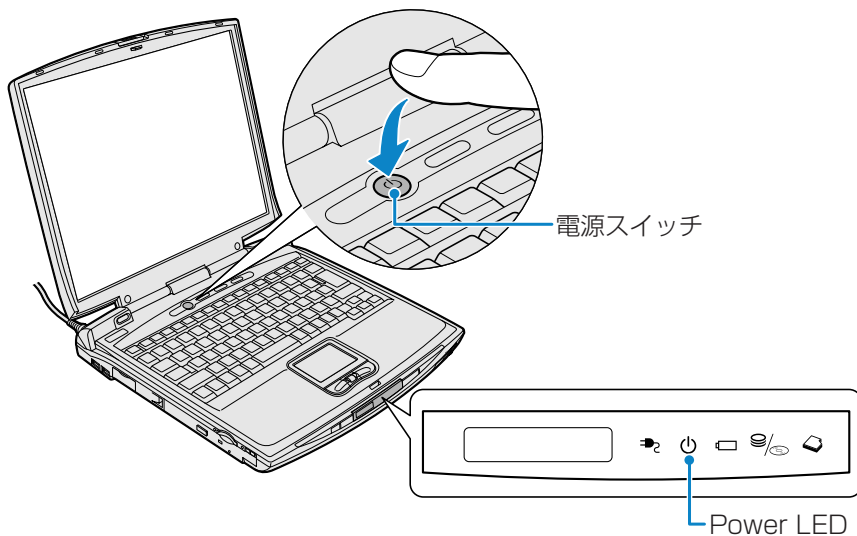
### 1 パソコンのディスプレイを開ける

- ディスプレイ開閉ラッチをスライドし、ディスプレイをゆっくり起こします。



### 2 電源スイッチを押す

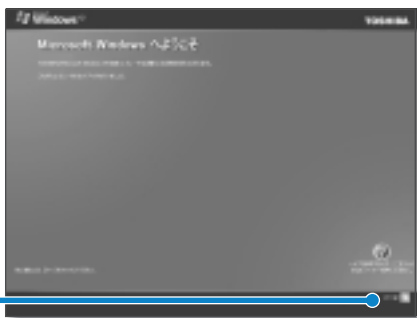
- Power 電源 LEDが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押してください。



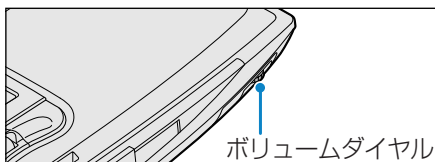
# Microsoft Windows へようこそ

パソコンが起動したら、[Microsoft Windowsへようこそ] 画面が表示され、音楽が流れます。

## 1 [次へ] ボタンをクリックする




- Windowsセットアップのヘルプを表示するには、画面右下の ? ボタンをクリックするか[F1]キーを押します。
- 音量は本体前面にあるボリュームダイヤルで調節できます。



- [使用許諾契約] 画面が表示されます。

## クリックとは？

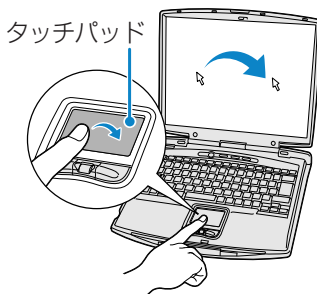
タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きにあわせてディスプレイ上の「」(ポインタ)が動きます。

目的の位置にポインタをあわせたあと、左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。



詳しい使いかた

- ➔ 『基本をマスター 1章 1-① タッチパッド』



# Windows のセットアップをしよう

## 使用許諾契約書に同意する

- 1 [使用許諾契約] の内容を確認し、[同意します] の左にある  をクリックする



- ボタンをクリックすると契約書の続きを表示できます。
- をクリックすると  になります。
- 契約に同意しなければ、セットアップを続けることはできず、Windowsを使用することはできません。

- 2 [次へ] ボタンをクリックする

- [コンピュータに名前を付けてください] 画面が表示されます。

## コンピュータの名前を入力する

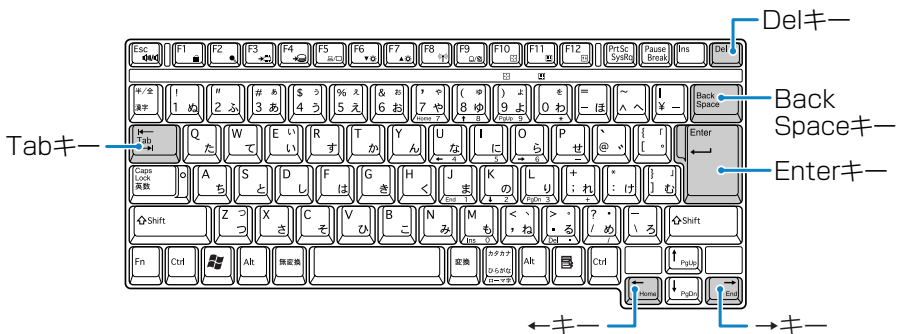
- 1 コンピュータの名前を入力する



- ネットワークを使用する場合は必ず入力してください。
- 半角英数字で任意の文字列を入力してください。このとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。

## コンピュータの名前を入力する

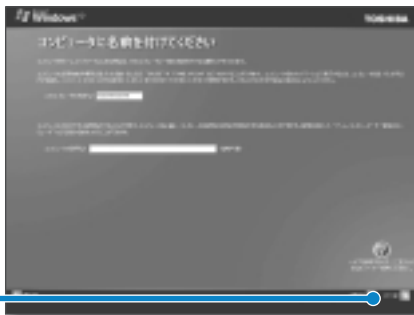
### 主なキーの位置



#### ■入力を間違えた文字を削除する

- ・カーソルの左側の文字を削除する…… **BackSpace** キー
  - ・カーソルの右側の文字を削除する…… **Del** キー
- カーソルを左右に動かすには、**←**キーまたは**→**キーを押します。

## 2 [次へ] ボタンをクリックする



- Windows® XP Home Editionモデルの場合は、[インターネット接続が選択されませんでした] 画面が表示されます。15ページへ進んでください。
- Windows® XP Professionalモデルの場合は、[管理者パスワードを設定してください] 画面が表示されます。

# Windows のセットアップをしよう

## 管理者パスワードを入力する\*1

\*1 Windows® XP Professionalモデルの場合

1 [管理者パスワード] と [パスワードの確認入力] にパスワードを入力する



- Administratorと呼ばれる管理者のユーザアカウントのパスワードを設定します。管理者のユーザアカウントでは、コンピュータにフルアクセスできます。
- パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。
- パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。

2 [次へ] ボタンをクリックする

- [このコンピュータをドメインに参加させますか?] 画面が表示されます。

## ドメインの参加をキャンセルする\*1

\*1 Windows® XP Professionalモデルの場合

1 [いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません] の左が  になっていることを確認する



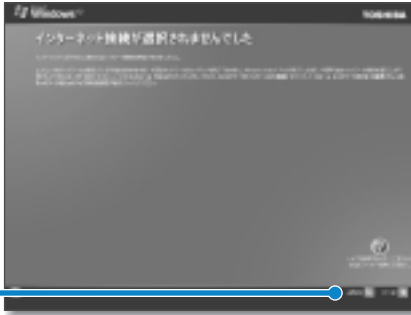
- セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略します。

2 [次へ] ボタンをクリックする

- [インターネット接続が選択されませんでした] 画面が表示されます。

## インターネット接続方法の指定を省略する

### 1 [省略] ボタンをクリックする



- セットアップ完了後に行えるので(26ページ参照)、ここでは省略します。
- [インターネット接続が選択されませんでした] 画面ではなく [インターネットに接続する方法を指定してください] 画面が表示されることもあります。その場合も、[省略] ボタンをクリックしてください。

- [Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?] 画面が表示されます。

## ユーザー登録をキャンセルする

### 1 [いいえ、今回はユーザー登録しません] の左にある をクリックする



- セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略します。

### 2 [次へ] ボタンをクリックする

- [このコンピュータを使うユーザーを指定してください] 画面が表示されます。

# Windows のセットアップをしよう

## ユーザ名を入力する

### 1 [ユーザー1] 欄に使う人の名前を入力する



- [ユーザー1] 欄をクリックすると、「|」が点滅します。「|」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。

- 入力に使うキーの位置については、13ページを参照してください。また、文字の入力方法については、『基本をマスター 1章 3 文字を入力する』に詳しい説明がありますので、参照してください。
- Windows XPでは複数（5人まで）のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは1人の名前だけ入力します。

 複数のユーザの設定について

➔ 『基本をマスター 4章 2 複数のユーザで使用する』

### ■ローマ字入力で入力する場合

「なかたたらう」と入力するときは、キーボードで

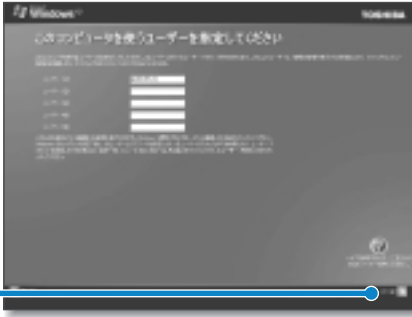
**N A K A T A T A R O U** **Enter** と押します。

キーを押しても文字が表示されない場合は、[ユーザー] 欄に「|」が表示され点滅していることを確認してください。表示されていないときは、[ユーザー] 欄をクリックしてください。



## ユーザ名入力を終了する

### 1 [次へ] ボタンをクリックする



- [設定が完了しました] 画面が表示されます。

## セットアップを完了する

### 1 [完了] ボタンをクリックする



- 画面に砂時計「🕒」が表示されているときは、パソコンが考えたり作業をしている状態です。🕒が消えてから操作してください。

- Windowsのセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動し、次の画面が表示されます。
- 購入後初めてセットアップした場合は、日付と時刻の設定をしてください(23ページ参照)。

# Windows のセットアップをしよう

## デスクトップ画面

### ごみ箱

いらなくなったファイルを  
いったんここに捨て、まとめて  
消去します。

### アイコン

よく使うファイルやアプリケー  
ションなどが、絵で表示されます。

### インターネット

インターネットに接続できます。  
標準で設定されているブラウザ  
ソフト名が表示されています。

### 電子メール

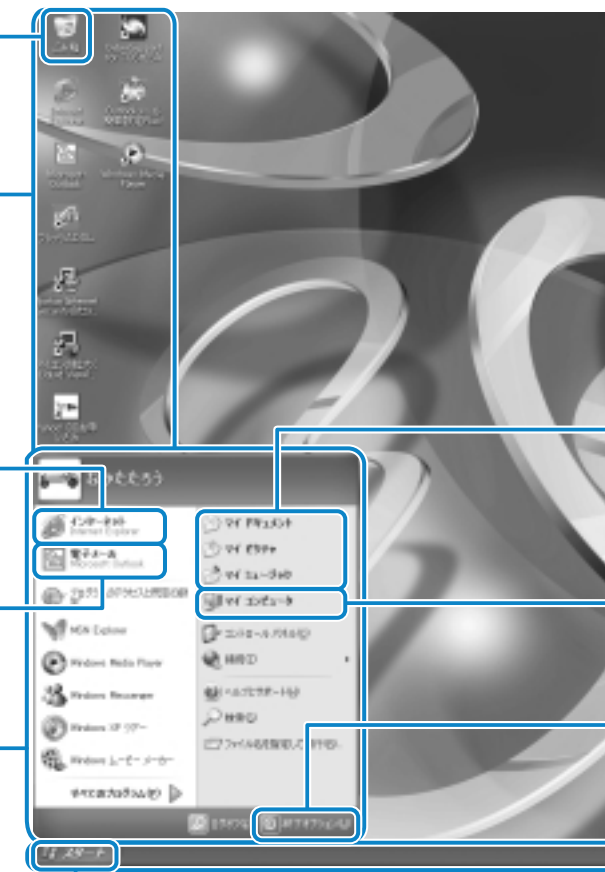
電子メールソフトを起動できます。  
標準で設定されている電子メール  
ソフト名が表示されています。

### 【スタート】メニュー

よく使うファイルやアプリケー  
ションなどが、表示されます。  
クリックすると、目的の操作を  
始めることができます。

### 【スタート】ボタン

クリックすると、【スタート】メニューを  
閉じたり、再び表示させたりするこ  
とができます。



これで DynaBook が使えるようになりました。

\* 壁紙のデザインは、実際の表示とは異なる場合があります。



**マイ ドキュメント**  
**マイ ピクチャ**  
**マイ ミュージック**  
自分で作った文章や画像、音楽データなどを保存する場所です。

**マイ コンピュータ**  
このパソコンの構成を確認することができます。

**終了オプション**  
パソコンの電源を切ることができます。

**IMEツールバー**  
日本語を入力するときに使います。

(表示例)

**タスクバー**  
現在、Windows上で作業しているものの名前が一覧表示されます。

**通知領域**  
状況に応じて設定のためのアイコンが並び、時刻が表示されます。



これから DynaBook は、あなたの生活を楽しくするお手伝いを始めます。

# 電源を切る／入れる

## 電源を切る

電源を切る正しい手順を覚えましょう。

間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

### ■電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- HDD/CD-ROM LEDが点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

### 1 [スタート] ボタンをクリックする



### 2 [終了オプション] をクリックする



- [コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。

### 3 [電源を切る] をクリックする



- Windowsが終了し、電源が切れます。Power LEDが消灯します。
- 電源を切った後、ディスプレイは、静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。

■Windows®XP Professionalモデルでドメイン参加している場合  
電源を切るときは次の手順になります。

**1** [スタート] ボタンをクリックし、表示されたメニューから [シャットダウン] をクリックする

- [Windowsのシャットダウン] 画面が表示されます。

**2** プルダウンメニューから [シャットダウン] を選択して、[OK] ボタンをクリックする

■電源を切った後は

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切った後に切ってください。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切った後すぐに入れないでください。故障の原因となります。

## 再起動とスタンバイ

Windowsを終了した後、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。

- ① [スタート] ボタンをクリックし、表示されたメニューから [終了オプション] をクリックする
- ② [再起動] をクリックする

Windows®XP Professionalモデルでドメイン参加している場合、電源を切るときと同様の手順になります。その際、[Windowsのシャットダウン] 画面で [再起動] を選択してください。

スタンバイについては、『応用ガイド 5章 3-① スタンバイ』に詳しい説明がありますので、そちらを参照してください。

# 電源を切る／入れる


## 電源を入れる

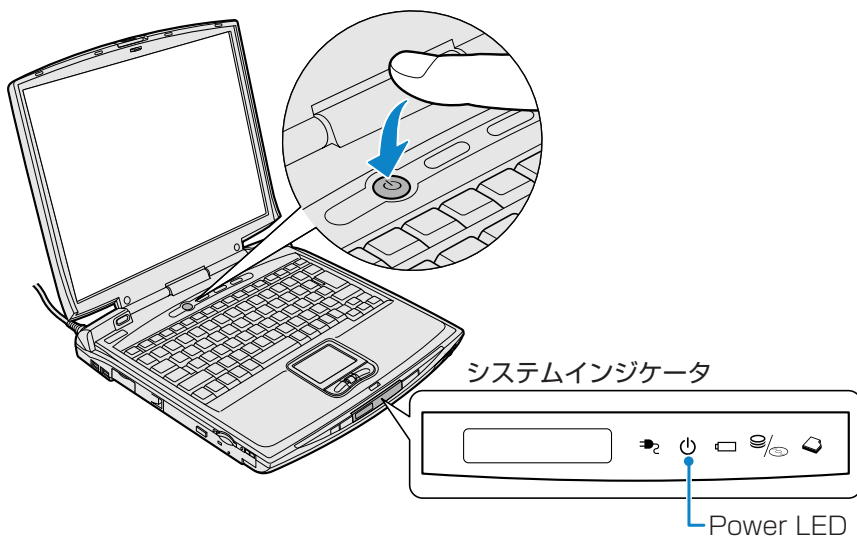
Windowsセットアップを終えた後は、次の手順で電源を入れます。

### ■ 電源を入れる前に

- 外付けのUSBフロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていれば取り出してください。
- プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れてください。



### 1 電源スイッチを押す

- Power  LEDが緑色に点灯するまで、電源スイッチを押してください。



## ■ 電源に関する表示

電源の状態は次のシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。電源に関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告（ACアダプタ、バッテリーまたはパソコン本体の異常）
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF、休止状態中

## 日付と時刻の設定

購入後初めてセットアップを終えた後は、次の手順で日付と時刻を現在にあわせませす。

- ① [スタート] ボタンをクリックし、表示されたメニューから [コントロールパネル] をクリックする
- ② [日付、時刻、地域と言語のオプション] をクリックする
- ③ [日付と時刻] をクリックする  
[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。
- ④ [日付] 欄の ▲ または ▼ をクリックして年号をあわせる
- ⑤ [日付] 欄の ▼ をクリックして月をあわせる
- ⑥ [日付] 欄のカレンダーで日をクリックする
- ⑦ [時刻] 欄の ▲ または ▼ をクリックして時刻をあわせる  
変更する時/分/秒をクリックしてから、▲ または ▼ をクリックします。
- ⑧ [OK] ボタンをクリックする

時刻は、画面右下の [通知領域] に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタをあわせるとしばらくして表示されます。

正しく設定されているかどうか確認してください。

# インターネットに接続しよう

## ● 接続までの流れ

ここでは、インターネットへの接続について説明しています。  
インターネットを利用しない場合は、「ユーザ登録をする」(38ページ)へ進んでください。ただし、本製品に添付されているアプリケーションの中には、インターネットを利用しないと機能が制限されるものがあります。

### Step1 プロバイダを選ぶ

#### プロバイダを選ぶポイント

- 使用する場所と同じ局番にアクセスポイントがある
- 使用しているモデムやアダプタに対応している
- プロバイダが提供するサービス内容
- アクセスポイントが多い
- 自分に合うプランがある
- メールアドレスを指定できる
- サポート体制が充実

#### インターネットにかかる費用

インターネットに接続すると電話料金とプロバイダの料金がかかります。  
各プロバイダ、各電話会社ともさまざまなプランがありますので、自分にあった料金体系を選びましょう。

### Step2 電話回線の接続

\* 電話回線の他にもさまざまな接続方法があります。

#### 電話回線のタイプをチェックする

パルス	ダイヤル式電話機、ダイヤルボタンを押すと「ブツブツ」
トーン	ISDN回線、ダイヤルボタンを押すと「ピポパ」

### Step3 プロバイダと契約

#### 簡単インターネット

本製品に用意されている「簡単インターネット」では、インターネットを経由して契約（オンラインサインアップ）できます。

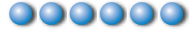
その際、ほとんどのプロバイダでクレジットカードなどの番号が必要です。

「簡単インターネット」にある各プロバイダの概要については、同梱されているご案内を読んでください。

### Step4 パソコンの設定

### インターネットに接続





## 思う存分に使えるブロードバンドの魅力は安くて速い。

インターネットに高速接続できるのが、高速大容量ブロードバンドです。接続しっぱなしでも、料金は変わりません。大容量の映像や音楽もこれまでとはケタ違いの速さでダウンロードできます。時間を気にせず調べものをしたり、インターネット配信の新曲をいち早くダウンロードしたり、新しい楽しみかたを提供します。

### 【高速・大容量】 大容量のデータも安定安心。スムーズにダウンロード

プロモーションビデオや曲のダウンロードもスムーズ  
動画もビデオ並みに自然な動きで表示もきれい

### 【常時接続・定額料金】 時間を気にしないで、ゆっくり存分に楽しめる

対戦ゲームやコンサート中継を楽しんだり、リアルタイムの情報も瞬時に調べられる

---

### ADSL（非対称デジタル加入者回線）★スピードは12Mbpsの場合約210倍

電話回線を使って接続するので、工事は簡単。利用料金も低価格。  
ADSLモデムが必要。ISDN利用者はいったんアナログ回線に戻す工事が必要。

---

### CATV（ケーブルテレビ）★スピードは10Mbpsの場合約180倍

ケーブルテレビ回線を使って接続。ケーブルテレビの契約者は申し込むだけで利用できる。コンテンツに特長がある。ケーブルモデムが必要。

---

### 光ファイバー・FTTH/光無線インターネット★スピードは100Mbpsの場合約1800倍

光ファイバーケーブルを使って接続。大掛かりな工事が必要なため光ファイバーから無線を使って通信するサービスも始まる。大容量・高速接続ではトップクラス。

★スピードは従来の電話回線（56kbps）との比較（理論値）

本製品ではブロードバンド対応のLAN機能が標準装備され、LANケーブルをつなぐだけでADSL、CATV、光ファイバーに接続できます。またWindows XPでは、常時接続に備え、外部からの不正アクセスを遮断する機能が用意されています。

実際の通信速度は使用する環境や回線の仕様・性能によって変わります。導入にあたって、詳しい接続方法やスピード、サービス内容は各プロバイダや事業者に確認してください。

# インターネットに接続しよう

## パソコンと電話回線を接続する

ここでは、内蔵モデムを使って国内でインターネットを利用する方法を説明します。内蔵モデムの詳細や、海外でインターネットを利用する方法については、『応用ガイド 3章 4 内蔵モデムについて』または《サイバーサポート》を参照してください。

### 電話回線のタイプを設定する

- 1 [スタート] ボタンをクリックする



- 2 [コントロールパネル] をクリックする



(表示例)

- [コントロールパネル] 画面が表示されます。

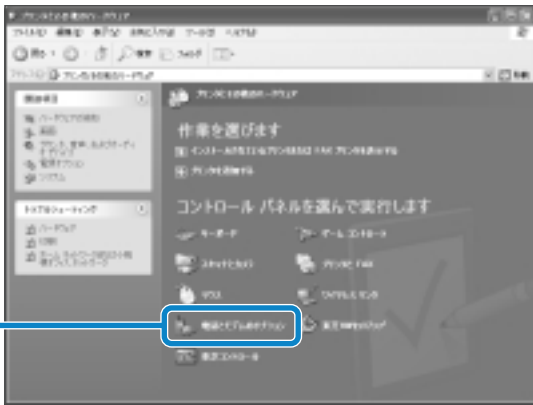
**3** 「プリンタとその他のハードウェア」 をクリックする



(表示例)

- 「プリンタとその他のハードウェア」 画面が表示されます。

**4** 「電話とモデムのオプション」 をクリックする



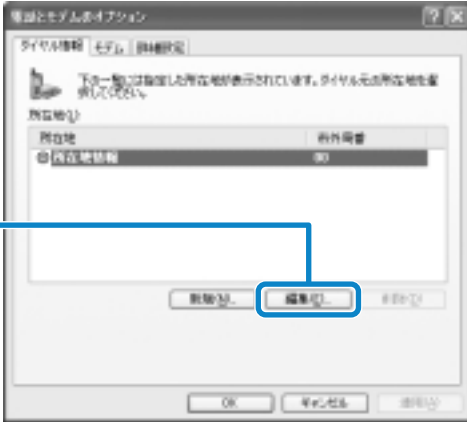
(表示例)

- 「電話とモデムのオプション」 画面が表示されます。

# インターネットに接続しよう

## パソコンと電話回線を接続する

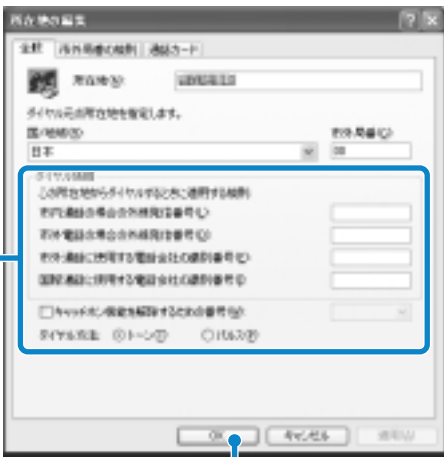
- 5 [ダイヤル情報] タブで [編集] ボタンをクリックする



(表示例)

- [所在地の編集] 画面が表示されます。

- 6 [全般] タブで、[ダイヤル情報] と [ダイヤル方法] を設定する



- [ダイヤル方法] では24ページの Step2で確認した電話回線のタイプを選択してください。

(表示例)

- 7 [OK] ボタンをクリックする

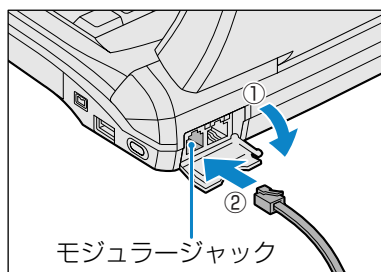
## 8 [電話とモデムのオプション] 画面で [OK] ボタンをクリックする

### モジュラーケーブルの取り付け

モジュラーケーブルを取り付けて内蔵モデムを使用する前に、あらかじめ同梱の冊子『安心してお使いいただくために』と『応用ガイド 3章 4 内蔵モデムについて』を必ず読んで、注意事項を守ってください。

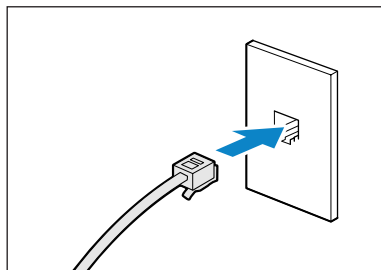
**1** 背面のコネクタカバーを開き①、モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む②

- 「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。

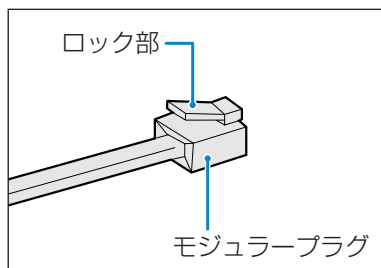


**2** もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む

- ISDN回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ (TA) またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。
- ビジネスホンや非アナログ回線などには接続しないでください。



■モジュラーケーブルを取りはずすとき  
モジュラープラグのロック部分を押さえながら抜きます。




# インターネットに接続しよう

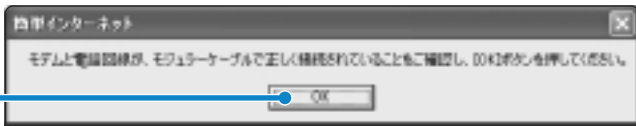
## プロバイダと契約する

### 「簡単インターネット」を起動する


モジュラーケーブルを接続したら「簡単インターネット」を起動します。

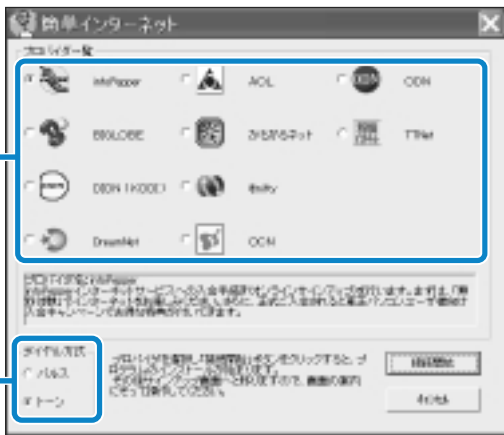
**1** デスクトップ上の「簡単インターネット」アイコン (  ) をダブルクリックする

- ダブルクリックとは、目的の位置にポインタをあわせたあと、左ボタンをすばやく2回押すことです。
- メッセージが表示されます。



**2** パソコンと電話回線が接続されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックする

**3** 入会したいプロバイダをチェック (  をクリック ) する



(表示例)

**4** ダイヤル方式を確認する

- 28ページで設定した内容かどうか確認してください。

## 5 【接続開始】 ボタンをクリックする

- 選択されたプロバイダ専用の接続画面が表示されます。表示される内容に従って、操作を続けてください。



各プロバイダへの問い合わせ先について

➡ 『困ったときは 付録 2 プロバイダの問い合わせ先』

### 専用CD-ROMやインターネット接続ウィザードを使う

プロバイダサインアップソフトの入った専用CD-ROMを使っても、プロバイダと契約できます。また、郵送で申し込んだ後、インターネット接続ウィザードを使って設定することもできます。

#### ■ プロバイダサインアップ専用CD-ROMを使う

あらかじめ入手したプロバイダサインアップソフトの入っているCD-ROMをドライブにセットし、表示される画面に従って設定してください。

#### ■ インターネット接続ウィザードを使う

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [新しい接続ウィザード] をクリックし、表示された画面に従って設定してください。

# インターネットに接続しよう

## パソコンの設定

プロバイダによって設定内容は異なります。詳細については各プロバイダにお問い合わせしてください。



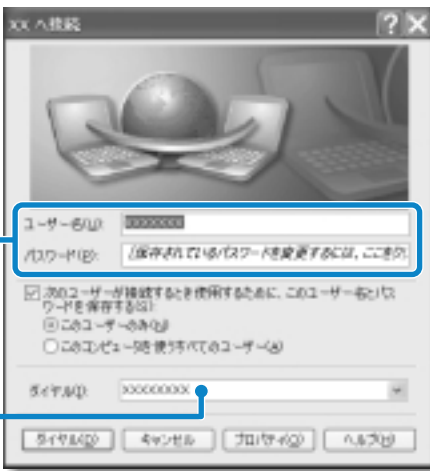
各プロバイダへの問い合わせ先について

☞ 『困ったときは 付録 2 プロバイダの問い合わせ先』

### 1 [スタート] ボタンをクリックし、[接続] にポインタをあわせ [XX (接続先)] をクリックする

- [XX (接続先) へ接続] 画面が表示されます。

### 2 プロバイダから指定されたユーザ名を確認する



- サインアップで設定したユーザ名が表示されます。正しいか確認しましょう。パスワードは表示されませんが、サインアップで設定したものが保存されています。

(表示例)

### 3 接続先の電話番号を確認する

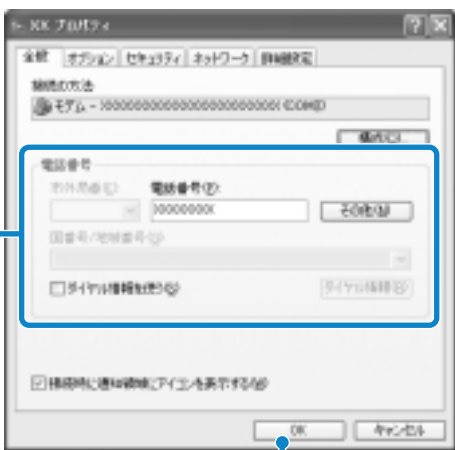
- サインアップで設定したアクセスポイントの番号が表示されます。正しいか確認しましょう。



**4** [XX (接続先) へ接続] 画面で [プロパティ] ボタンをクリックする

- [XX (接続先) プロパティ] 画面が表示されます。

**5** [全般] タブで接続先の電話番号を確認する



(表示例)

**6** [OK] ボタンをクリックする

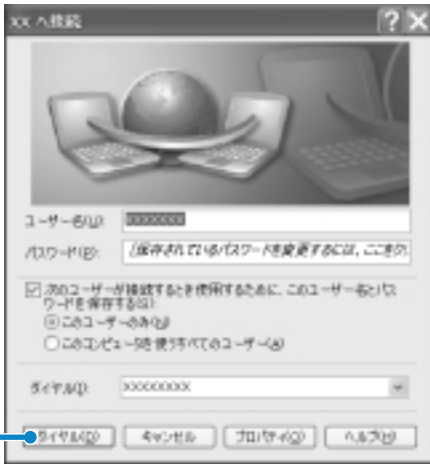
- [XX (接続先) へ接続] 画面に戻ります。以上でパソコンの設定は完了です。

設定が完了したら、実際にインターネットに接続してみましょう。

# インターネットに接続しよう

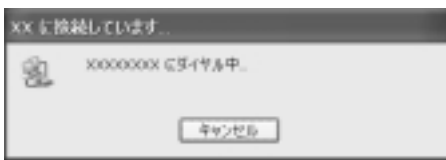
## パソコンの設定

### 7 [ダイヤル] ボタンをクリックする





- インターネットへの接続が開始されます。

(表示例)



- ダイヤル中は左のような画面が表示されます。接続できるまでしばらく時間がかかる場合もあります。

(表示例)

- 接続したときに画面右下の通知領域に次の画面が表示され、[接続] アイコン (  ) が表示されます。メッセージ画面はしばらくすると消えます。すぐに消したい場合は [閉じる] ボタン (  ) をクリックしてください。



- これでインターネットへ接続しました。

(表示例)

## インターネット設定チェックシート

インターネットにつながらない、インターネットの設定を誤って削除してしまった、などのトラブルに備えて、インターネットに関する設定をこのチェックシートに記入しておきましょう。  
後日プロバイダから郵送されてくる資料をみたり、プロバイダなどに問い合わせ記入してください。

インターネットに接続するための設定	あなたの設定
ダイヤル方式（トーン/パルス）	
外線発信番号（市内電話）*1	
外線発信番号（市外電話）*1	
ログオンユーザ名*2	
ログオンパスワード*3	
アクセスポイント電話番号	
プライマリDNSサーバアドレス*4	
別の（セカンダリ）DNSサーバアドレス*4	
電子メールの設定	あなたの設定
電子メールアドレス	
受信メール（POP3/IMAP）サーバ	
送信メール（SMTP）サーバ	
メールアカウント名*2	
メールパスワード*3	

\*1 [外線発信番号] は、外線発信番号を設定している場合のみ記入してください。

\*2 [ログオンユーザ名] は、プロバイダに接続するための名前で、[メールアカウント名] は、受信メールサーバに接続するための名前です。プロバイダによっては、両方同じ名前の場合もあります。

\*3 [ログオンパスワード] は、プロバイダに接続するためのパスワードで、[メールパスワード] は、受信メールサーバに接続するためのパスワードです。プロバイダによっては、両方同じパスワードの場合もあります。

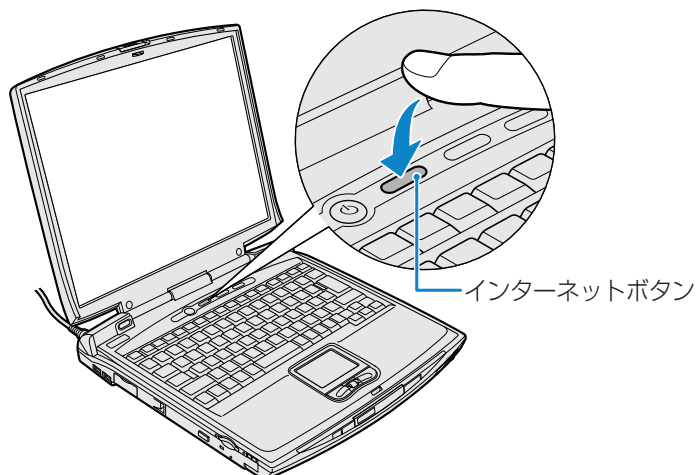
\*4 [DNSサーバ] は [ドメインネームサーバ] とも呼びます。プロバイダによっては、[別のDNSサーバアドレス] は設定しない場合もあります。また、両方設定しない場合もあります。

# インターネットに接続しよう

## インターネットに接続する

プロバイダと契約した後、パソコンの設定が終わったら、次の方法でインターネットへ接続できます。

### 1 インターネットボタン (Ⓜ) を押す




- 「Internet Explorer」が起動します。  
パソコン本体の電源が入っていないときは電源が入ります。  
スタンバイを実行中、または休止状態のときにインターネットボタンを押すと、電源を切る前の状態が再現された後、「Internet Explorer」が起動します。  
続けて、[ダイヤルアップ接続] 画面が表示されます。

### 2 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする



- 「Internet Explorer」の詳しい使いかた  
➡ 『基本をマスター 2章 インターネットを楽しもう』

## インターネット接続を終了する

次の方法で、インターネットへの接続を終了できます。  
接続が終了すると通知領域の「接続」アイコン（）が消えます。


### 1 通知領域の「接続」アイコン（）を右クリックする



- 右クリックとは、目的の位置にポインタをあわせたあと、右ボタンを1回押すことです。

（表示例）

### 2 表示されたメニューから「切断」をクリックする

- 「接続」アイコン（）が通知領域に表示されていない場合は、[スタート] → [接続] → [XX (接続先)] をクリックし、[XX (接続先) 状態] 画面で [切断] ボタンをクリックしてください。

# ユーザ登録をする

## 東芝へのユーザ登録


DynaBookを使うにあたって、お客様へのサービス・サポートを充実させるために東芝へのお客様登録を推奨しています。東芝パソコンをさらに便利に使うための、新商品やイベント情報の案内などの特典があります。

登録は、インターネットまたは同梱されている「登録はがき」で行います。

「登録はがき」で登録する場合、本製品に同梱されている「登録はがき」に必要な事項を記入し、送付してください。

インターネットで登録する場合、インターネットに接続する準備をしてから（26～33ページ参照）、次の手順で行ってください。

### 【東芝PCお客様登録】アイコンで登録する

1 デスクトップ上の【東芝PCお客様登録】アイコン（）をダブルクリックする

2 内容を読んで【次へ】ボタンをクリックする

●表示される内容に従って操作を続けてください。

#### ■【インターネットプロバイダと未契約の方】を選択した場合

インターネットプロバイダ インフォペッパー「infoPepper」への入会とパソコンのユーザ登録を1度に行うことができます。「infoPepper」への初期登録料と接続時間に応じた料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。

「infoPepper」以外のプロバイダへの入会を希望する場合は、プロバイダに入会してパソコンの設定を行った後、【インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続されている方】を選択してください。

#### ■【インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくはLAN経由でインターネット接続されている方】を選択した場合

インターネットに接続してユーザ登録できます。

#### ■【インターネット経由で登録を希望しない方】を選択した場合

はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。



●ホームページから登録することもできます。

アドレス <http://dynabook.com/tpmc/user/j/>

## その他のユーザ登録

### Windows XPのユーザ登録

登録すると、Windows XPの今後のサービス・サポートを受けることができます。登録は、インターネットで行います。パソコンにモジュラーケーブルを取り付けて（29ページ参照）インターネットに接続してから、次の手順で行ってください。

- 1 [スタート] → [ヘルプとサポート] をクリックする
  - [ヘルプとサポート センター] 画面が表示されます。
- 2 左画面の [Windows XPの新機能] をクリックする
- 3 左画面の [ライセンス認証、ライセンス、およびユーザー登録] をクリックする
- 4 右画面の [オンライン ユーザー登録を使用する] をクリックする
- 5 右画面の説明文中の [ユーザー登録ウィザード] をクリックする
  - [Microsoft Windows XP ユーザー登録ウィザード] が起動します。
- 6 表示される画面に従って登録を行う
  - ユーザーIDを持っていない場合は、所有者情報を入力する画面の [マイクロソフト オフィシャルユーザーID] 欄に「WindowsXP」と入力してください。

### その他のアプリケーションのユーザ登録


DynaBookに用意されている他のアプリケーションのユーザ登録については、同梱の「ユーザ登録用紙」または各アプリケーションのヘルプを確認してください。また、各アプリケーションの問い合わせ先については、『困ったときは 付録 1 アプリケーションの問い合わせ先』を確認してください。

# サイバーサポートで調べよう

## サイバーサポートとは？

本製品には、サイバーサポート（「CyberSupport for TOSHIBA」）が用意されています。  
パソコンを利用するときにわからないことや知りたいことを文章で入力して、ヘルプやオンラインマニュアルから解説を探し出すことができます。

### 起動方法

① デスクトップ上の [CyberSupport for TOSHIBA] アイコン（）をダブルクリックする

- 初めて起動したときは、[使用許諾の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。
- サイバーサポートが起動し、[CyberSupportへようこそ] 画面が表示されます。内容を確認して [閉じる] ボタンをクリックしてください。

〔次回から、ダイアログボックスを表示しない〕をチェックすると、次にサイバーサポートを起動したときは [CyberSupportへようこそ] 画面は表示されません。





## 操作方法

次の手順に従って検索してください。  
カッコ内の丸数字は左ページの画面内の丸数字を示します。

### 1 (①) をクリックし、表示されたリストから検索したいヘルプを選択する

- サイバーサポートに登録されているオンラインマニュアルやアプリケーション名が表示されるので、検索対象にしたいものを選択してください。

### 2 知りたいことやわからないことを「質問を入力してください」欄 (②) に入力する

- 自分で入力しなくても、 をクリックして表示される文例リストから選択することもできます。

### 3 (③) をクリックする

- 検索対象に設定されているすべてのヘルプが検索され、「検索結果」欄 (④) に該当する項目のリストが表示されます。

### 4 「検索結果」欄 (④) に表示された項目リストから、見たい項目をクリックする

- 右側の画面 (⑤) にその内容が表示されます。  
このとき、「トピックの検索」画面が表示されることがあります。その場合は、そのまま「表示」ボタンをクリックするとトピックが表示されます。

 詳しい使いかた  『困ったときは 1章 1-① サイバーサポートで調べる』



- アプリケーションの削除機能で「Internet Explorer」を削除してしまうと、サイバーサポートを表示させることはできません。
- サイバーサポートでは一部のファイルを「Acrobat Reader」で表示するため、サイバーサポートを利用する前に必ず「Acrobat Reader」を起動して、起動時に表示される使用許諾書に同意しておいてください。

# メニューを作ってみよう

## よく使うアプリケーションを選んでメニューを作る

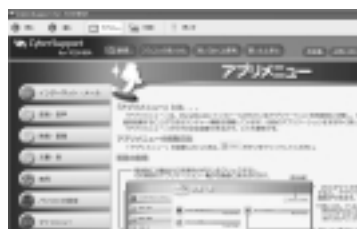
本製品に用意されているサイバーサポートには、「アプリメニュー」機能があります。「アプリメニュー」を利用すると、用途別に分類されている中から、使いたいアプリケーションを直接起動できます。

「アプリメニュー」には「マイメニュー」機能が用意されていて、使いたいアプリケーションを登録し、自分だけのメニューを作成できます。

### アプリメニューを使う

- 1 サイバーサポート画面で  をクリックする

- [アプリメニュー] 画面が表示されます。



- 2 左画面で項目を選択し、表示された中から起動したいアプリケーションのアイコンをクリックする

### マイメニューを起動する

ここでは [マイメニュー] に「ペイント」を追加する例で説明します。

- 1 [アプリメニュー] 画面で、 をクリックする

- [マイメニュー] 画面が表示されます。

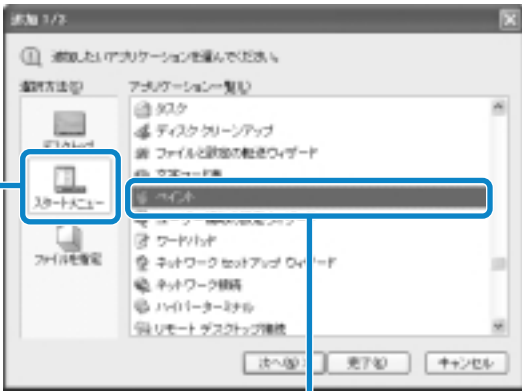


- 2  をクリックする

**3** [追加] をクリックする

- [追加] ウィンドウが表示されます。

**4** [選択方法] で「スタートメニュー」をクリックする



(表示例)

**5** [アプリケーション一覧] で「ペイント」を選択する

**6** [完了] ボタンをクリックする

**7** [カスタマイズ終了] をクリックする

- 「ペイント」が [マイメニュー] に追加されます。



このようにして、どんどん自分だけのメニューを作ることができます。

# DynaBook と賢くつきあうために

## ● コンピュータウイルスを予防しよう ——— ●●●●●●●●

コンピュータウイルスとは、パソコンにトラブルを発生させるプログラムのことです。病原体のウイルスが人間に感染するように、ネットワークやフロッピーディスクなどを介して、コンピュータからコンピュータに増殖するので、コンピュータウイルスと呼ばれています。

コンピュータウイルスには、ハードディスクやデータの一部を破壊するものもあるので、定期的にウイルスチェックを行ってください。

本製品には、ウイルスチェックソフトとして「Norton Internet Security」が用意されています。

また、「Norton Internet Security」はファイアウォールと呼ばれる防護壁を提供し、インターネットを通したパソコンへの不正なアクセスを遮断することができます。

 ウイルスチェックについて

☞ 『困ったときは 2章 1 ウイルスチェックをする』

## ● バックアップをとろう ——— ●●●●●●●●

保存したファイルやフォルダを誤って削除してしまったり、パソコンのトラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-RW、DVD-RAMなど、ハードディスク以外の記憶メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。

本製品には、DVD-RW、DVD-R、CD-RW、CD-Rにバックアップをとることができる「Drag'n Drop CD+DVD」が用意されています。

 バックアップについて ☞ 『困ったときは 2章 2 バックアップをとる』

## ● 周辺機器を購入するときは ——— ●●●●●●●●

パソコンには、プリンタやスキャナ、PCカードなどの周辺機器を接続することができます。周辺機器を接続することによって、より便利にパソコンを活用できます。ただし、周辺機器はインタフェース（ケーブルやコネクタの形状）が違っていると接続できません。購入するときは、マニュアルで本製品のインタフェースを確認のうえ、本製品で使用できるかどうかを周辺機器の取り扱い元や販売店で確認してください。

 周辺機器について ☞ 『応用ガイド 4章 周辺機器の接続』


## ● パソコンの手入れも忘れずに

パソコンはちりやホコリが苦手です。日常の手入れを行ってください。  
パソコンは精密機械です。故障や感電を防ぐために、CD、DVDなどを取り出してからパソコンや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、手入れを始めてください。詳細については『応用ガイド 1章 本体の機能』の各部ごとの説明の最後に紹介しています。

## ● もし、パソコンに異常が起これたら

パソコンを使用中に煙が出た  
異常な音が出た  
臭いがした  
水がかかってしまった  
パソコンを落とした  
ディスプレイ（表示装置）を  
破損してしまった

- 1 すぐに電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認して、バッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてください。

 バッテリーの取りはずしについて  
➔ 『応用ガイド 5章 1-③  
バッテリーパックを交換する』

- 2 修理に出してください。  
故障した状態のまま使用しないでください。

 修理の問い合わせについて  
➔ 『東芝PCサポートのご案内』

## ● あなたの健康のために

パソコンを長時間使うと、目や肩、首の疲れが気になります。  
次のことに注意してください。

- 目を疲れさせないために、ディスプレイ（表示装置）が目の高さより低くなるように置いてください。
- キーボード（入力装置）は肘<sup>ひじ</sup>よりも下にくるよう、椅子の高さを調節してください。
- 前にかがんだり背もたれに寄りかからないよう、姿勢に注意してください。特に首や肩の疲れを防ぐため、背中を楽にして入力することが大切です。椅子の位置などを調節しておきましょう。
- 長時間、ディスプレイ（表示装置）を見続けないようにしてください。15分ごとに30秒ぐらいの割合で遠くを見るようにしましょう。

# DynaBookと賢くつきあうために

## ● 持ち運ぶときは

パソコンを持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを必ず守ってください。

- 電源を必ず切り、ACアダプタを取りはずしてください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。  
電源を切ってACアダプタを取りはずした後に、すべてのLEDが消灯していることを確認してください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CD/DVDがセットされている場合は取り出してください。
- PCカード、SDメモ리카ードなどがセットされている場合は取り出してください。セットしたまま持ち歩くと、カードが壁や床とぶつかり、故障するおそれがあります。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- ディスプレイを閉じてください。

## Trademarks

- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの商標です。
- CyberSupportは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupportにかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- Symantec、Symantecロゴ、Norton AntiVirus、LiveUpdateはSymantec Corporationの登録商標です。  
Norton Internet SecurityはSymantec Corporationの商標です。  
©2003 Symantec Corporation, All Rights Reserved.
- Drag'n Dropはイージーシステムズジャパン株式会社と株式会社デジオンの登録商標です。
- MotionDV STUDIOは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## 東芝PCダイヤル

技術的なご質問、お問い合わせにお答えいたします。

( お問い合わせの際には「お客様登録番号」をお伺いしております。  
あらかじめ「お客様登録」を行っていただきますようお願い申し上げます。 )

ナビダイヤル **0570-00-3100** (サポート料無料)

受付時間/9:00~19:00 (年中無休)

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。  
なお、システムメンテナンスの日程については、dynabook.com上にてお知らせいたします。

電話番号は、お間違えのないようお確かめの上、おかけくださいますようお願いいたします。

お客様からの電話は全国6箇所(千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市)の最寄りの拠点に自動的に接続されます。拠点までの電話料金は有料となります。

海外からの電話、携帯電話などで上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780で受け付けております。

### ご注意

- ・ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。  
これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません。
- ・ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

## 東芝PC FAX情報サービス

東芝PCの商品情報、Q&Aなどを24時間お届けします。

**043-270-1358**

東芝PC FAX情報サービスでは音声FAX応答システムの採用により、パソコンの各種情報をFAXで提供しております。お手元のFAX(G3モード対応)から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください。ただし、メンテナンスのため休止させていただくことがあります。

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。  
東芝PCダイヤルにお問い合わせください。

**DynaBook** まずはこれから

平成15年4月23日

A1版発行

MPW1185A

発行 株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社

PC事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1



この冊子は植物性大豆油インキを使用しております。  
この冊子は再生紙を使用しております。

まずはこれから

東芝PC総合情報サイト  
<http://dynabook.com/>

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社 PC事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1